

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月12日

デクセリアルズ 株式会社

2025年3月期（FY24）第1四半期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。
また、2024年3月期（FY23）第3四半期についても、IFRSに組み替えて比較分析を行っております。

■ FY24.3Q累計 決算概要

■ FY24 業績見通し&株主還元

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

決算ハイライト

FY24.3Q 累計実績

- 3Q累計では、中韓スマホのOLEDシフトによる粒子整列型異方性導電膜（ACF）の拡大、ハイエンドノートPC好調による反射防止フィルムの数量増等で、蛍光体フィルムの終息影響を吸収し増収増益
- 蛍光体フィルムの終息影響を除く3Q単体では、一部ハイエンドスマホ向けセンサー関連製品の数量減や、車載向けにおける一部車種の生産終了等の一時的なマイナス要因が発生

FY24 見通し & 株主還元









- 下期は一時的なマイナス要因があるものの、4Qの為替前提を円安に見直し上方修正
- 期末配当額を26円から32円に増額、中間配当額26円とあわせて年間配当額58円に変更（株式分割考慮前：中間配当 78円、期末配当 96円、年間配当 174円）
- 自己株式取得&今期中の消却を決定（50億円）

決算概要

FY24.3Q累計 (2024.4.1~2024.12.31)



FY24.3Q累計 主要最終製品の市場・当社動向（前年同期比）

最終製品	市場動向	当社動向	
タブレット			<ul style="list-style-type: none">市場全体は前期並み顧客の最終製品の有機ELディスプレイ（OLED）へのシフトにより、蛍光体フィルムは終息
ノートブックPC			<ul style="list-style-type: none">市場全体は3Qも回復が続き、累計では前期並みハイエンド向けが好調、当社反射防止フィルムが拡大
スマートフォン			<ul style="list-style-type: none">市場全体は前期並み中韓スマホのOLEDシフトにより粒子整列型ACFが引き続き拡大するものの、一部ハイエンドスマホ向けセンサー関連製品の数量減により微増
自動車			<ul style="list-style-type: none">市場全体は前期並み一部車種の生産終了等で3Q減速するものの、累計では反射防止フィルムの新規獲得案件が上期に寄与

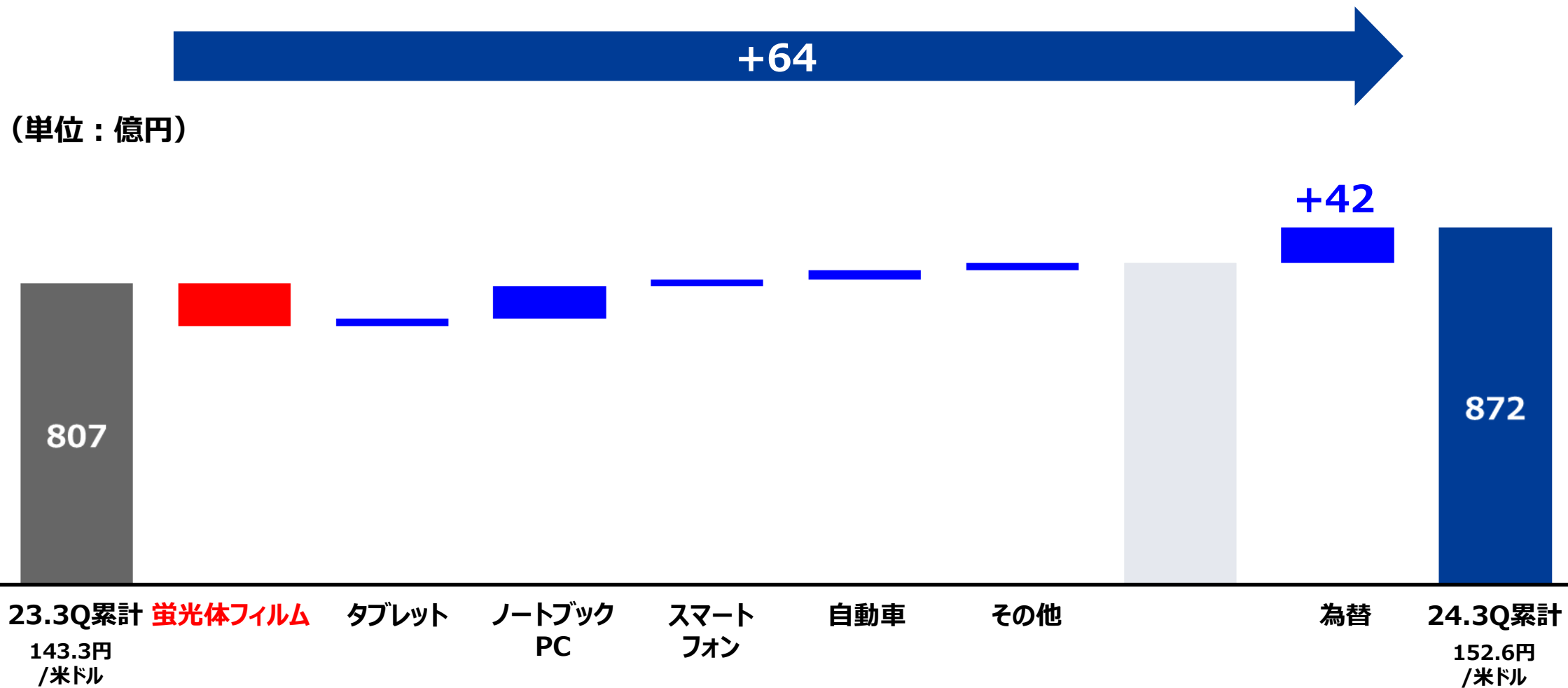
FY24.3Q累計 連結業績サマリー

(単位：百万円)	FY23.3Q	FY24.3Q	前年同期比 増減	
				為替変動の影響除く
売上高	80,717	87,163	+8.0%	+2.8%
事業利益	28,303	31,865	+12.6%	-0.0%
四半期利益*	18,490	23,356	+26.3%	
1株当たり四半期利益*	106.17円	135.97円	+28.1%	
EBITDA**	32,288	36,795	+14.0%	+2.9%
EBITDAマージン	40.0%	42.2%	+2.2%Pt	+0.0%Pt

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益に読み替え

** EBITDA=事業利益+売上原価並びに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費

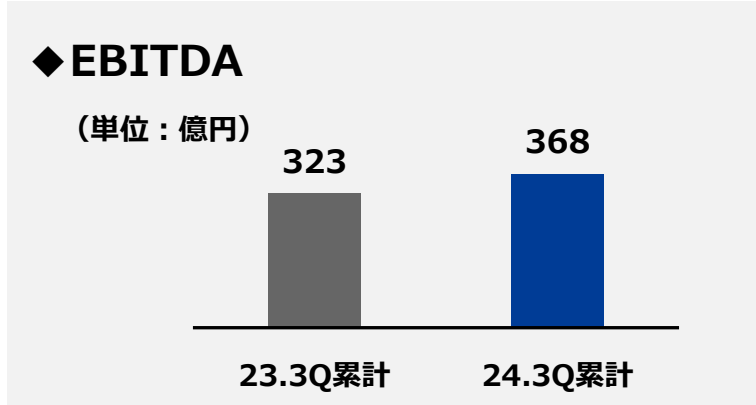
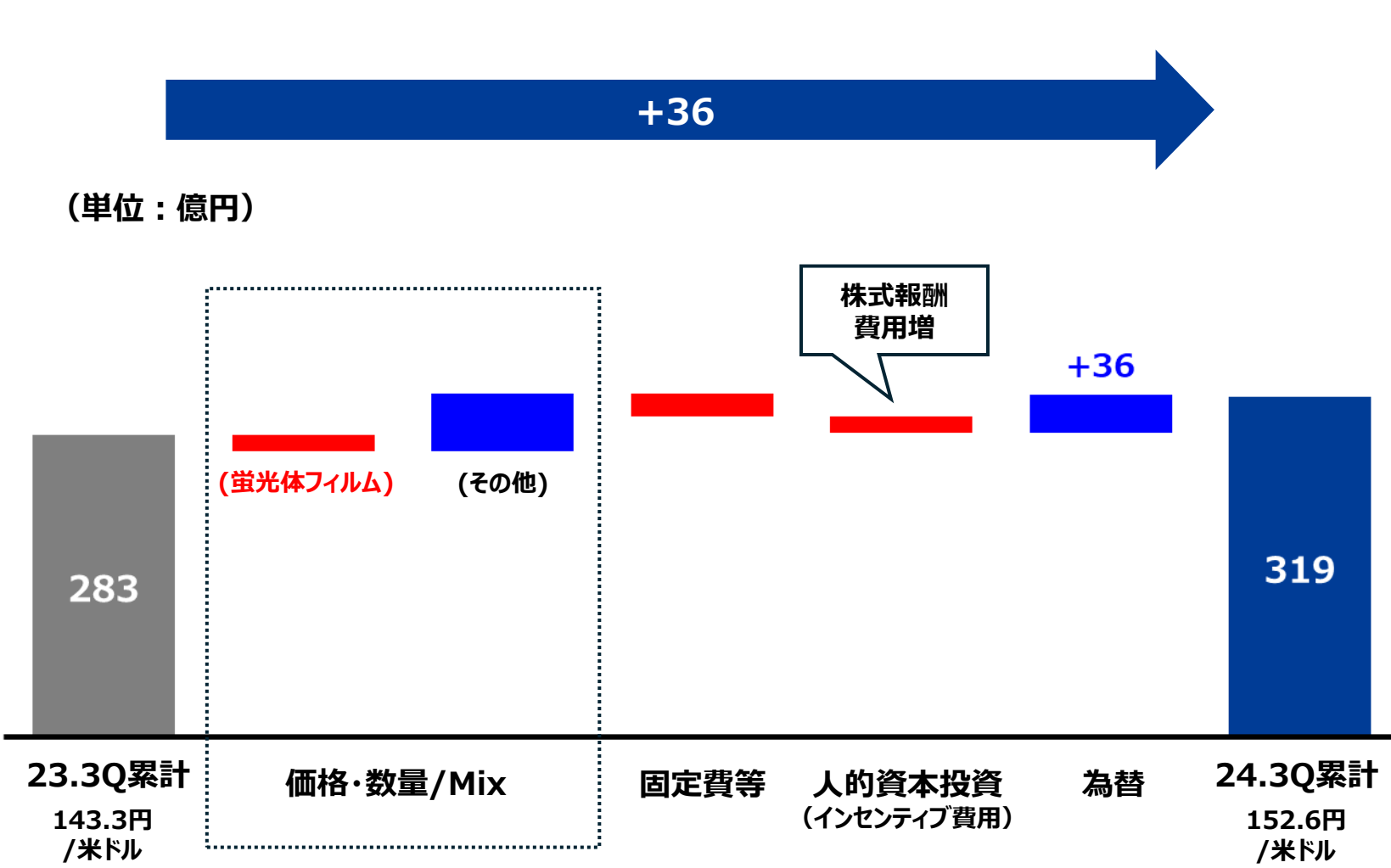
FY24.3Q累計 アプリケーション別売上増減（前年同期比）



(注) 一部推定を含む

(注) ノートブックPCはデスクトップモニターを含む

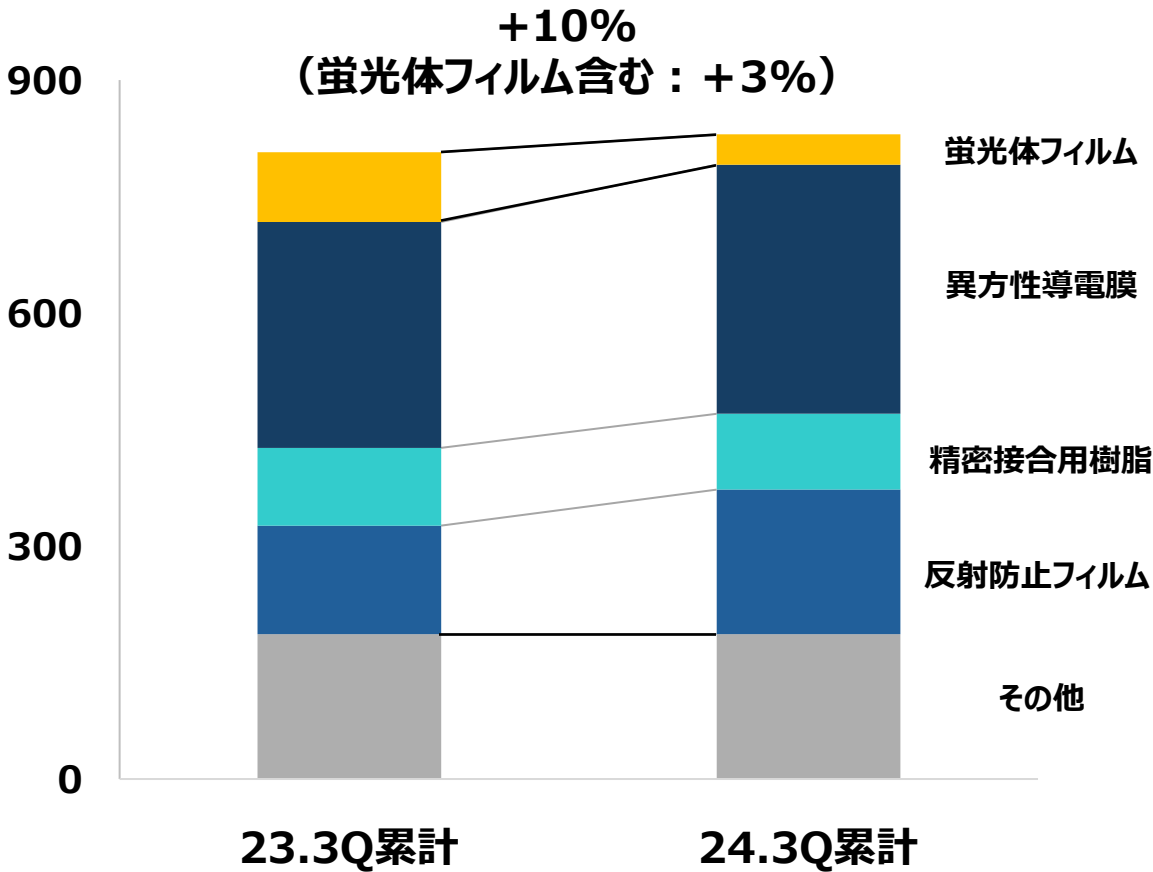
FY24.3Q累計 事業利益要因分析（前年同期比）



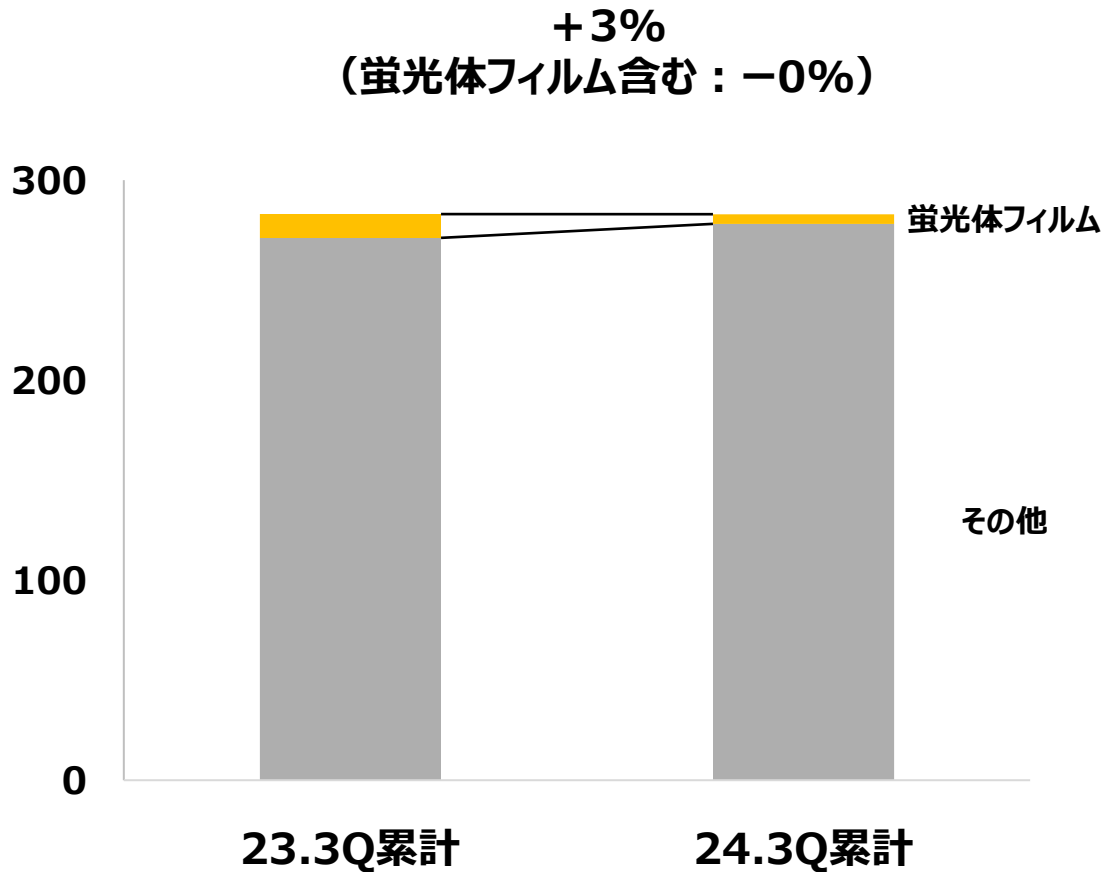
蛍光体フィルムを除く3Q累計YoY業績比較（為替前提：143.3円/米ドル*）

（単位：億円）

売上高



事業利益



*23.3Q累計の為替レート

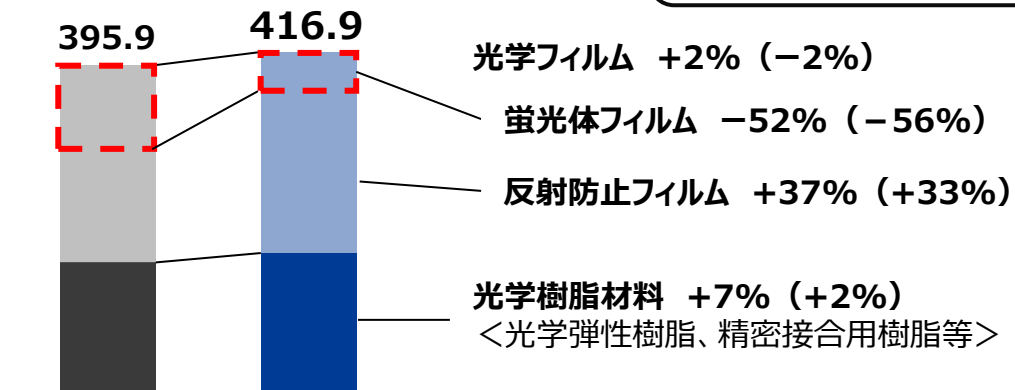
FY24.3Q累計 光学材料部品セグメント

◆ カテゴリー別売上高

前年同期比

売上高 416.9億円 +5%
為替変動の影響除く (+1%)

(単位：億円)



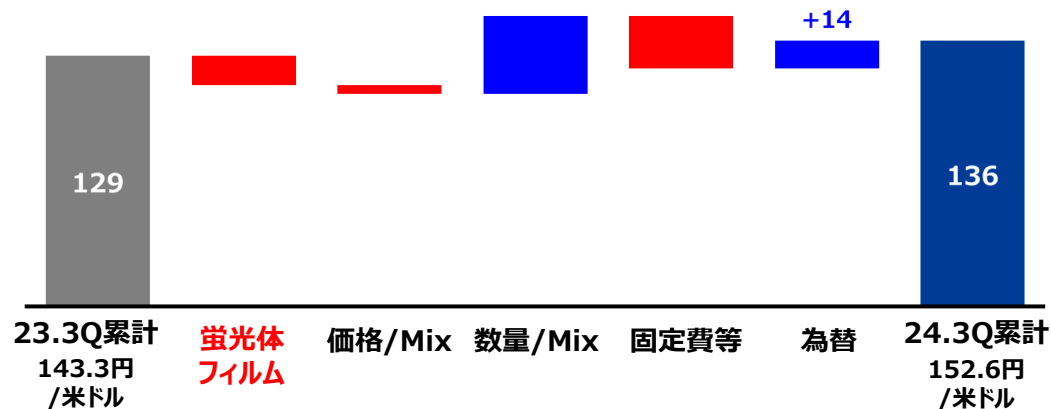
23.3Q累計 24.3Q累計

◆ 事業利益変動要因

前年同期比

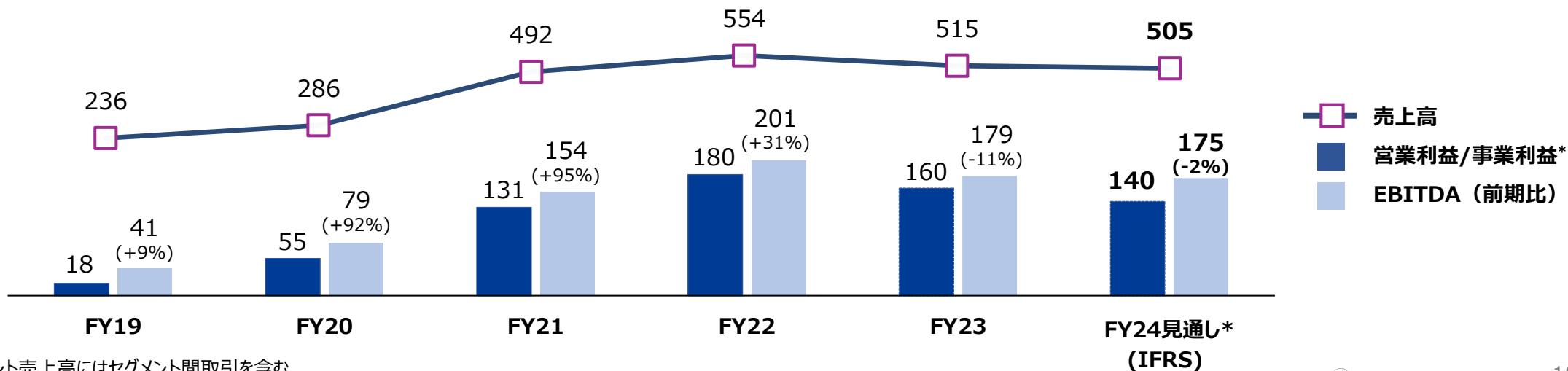
事業利益 136.3億円 +6%
為替変動の影響除く (-5%)
EBITDA 161.9億円 +10%

(単位：億円)



◆ 業績推移

(単位：億円)



(注) 光学材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

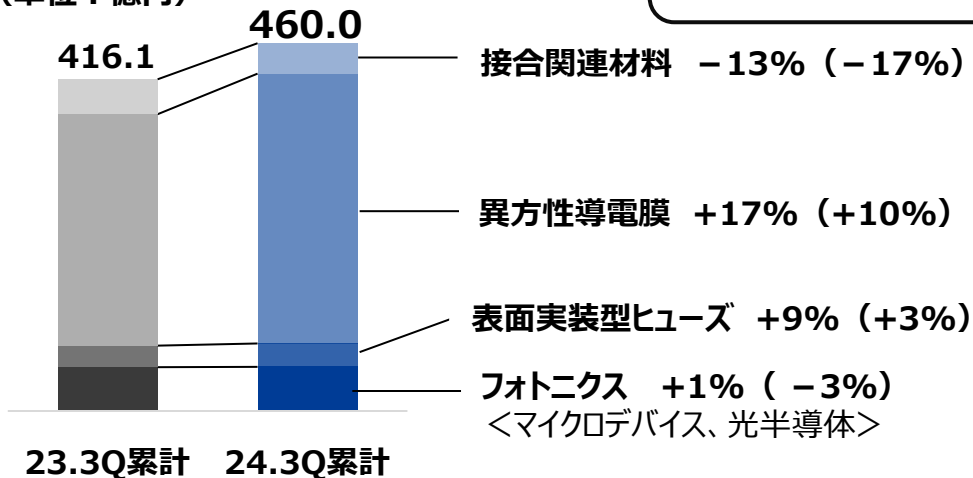
FY24.3Q累計 電子材料部品セグメント

◆ カテゴリー別売上高

前年同期比

売上高 460.0億円 +11%
為替変動の影響除く (+5%)

(単位：億円)

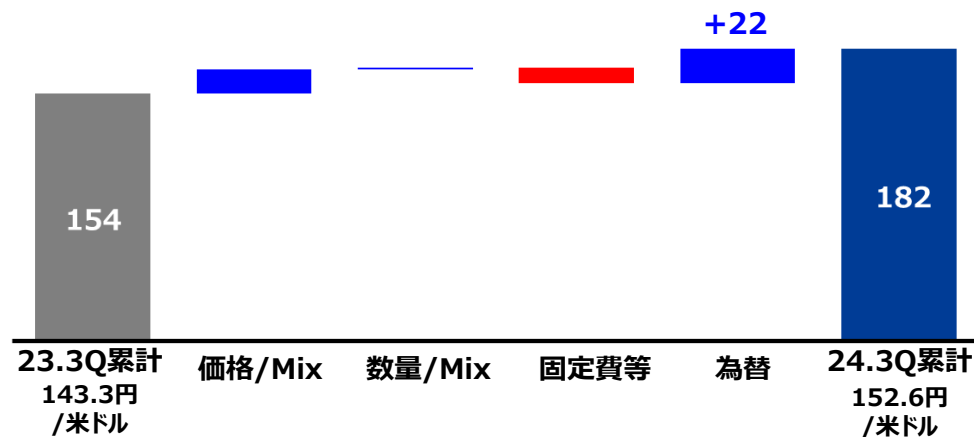


◆ 事業利益変動要因

前年同期比

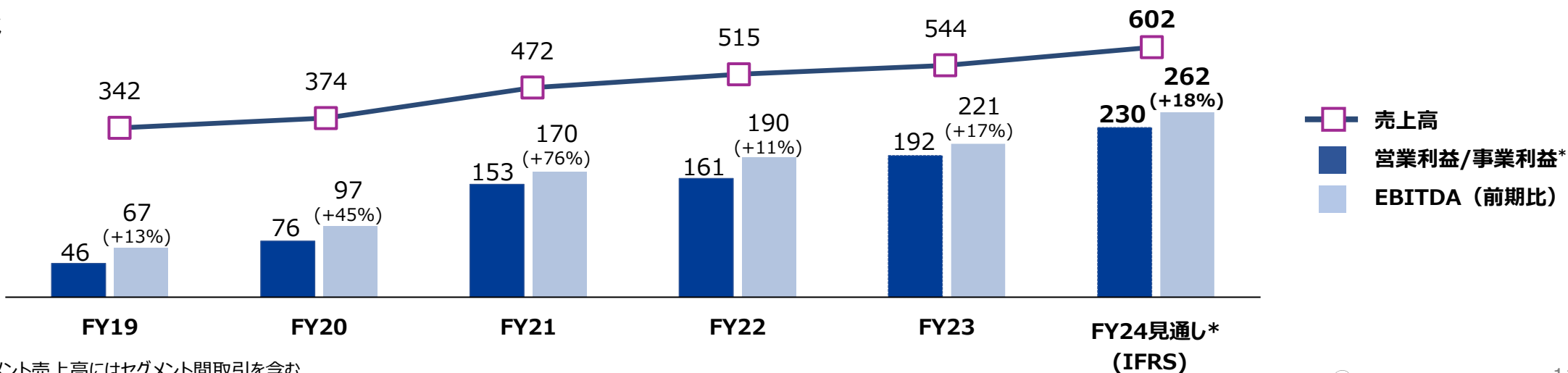
事業利益 182.2億円 +18%
為替変動の影響除く (+4%)
EBITDA 206.0億円 +17%

(単位：億円)



◆ 業績推移

(単位：億円)



(注) 電子材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

業績見通し

FY24 (2024.4.1~2025.3.31)



FY24 連結業績見通し：上方修正

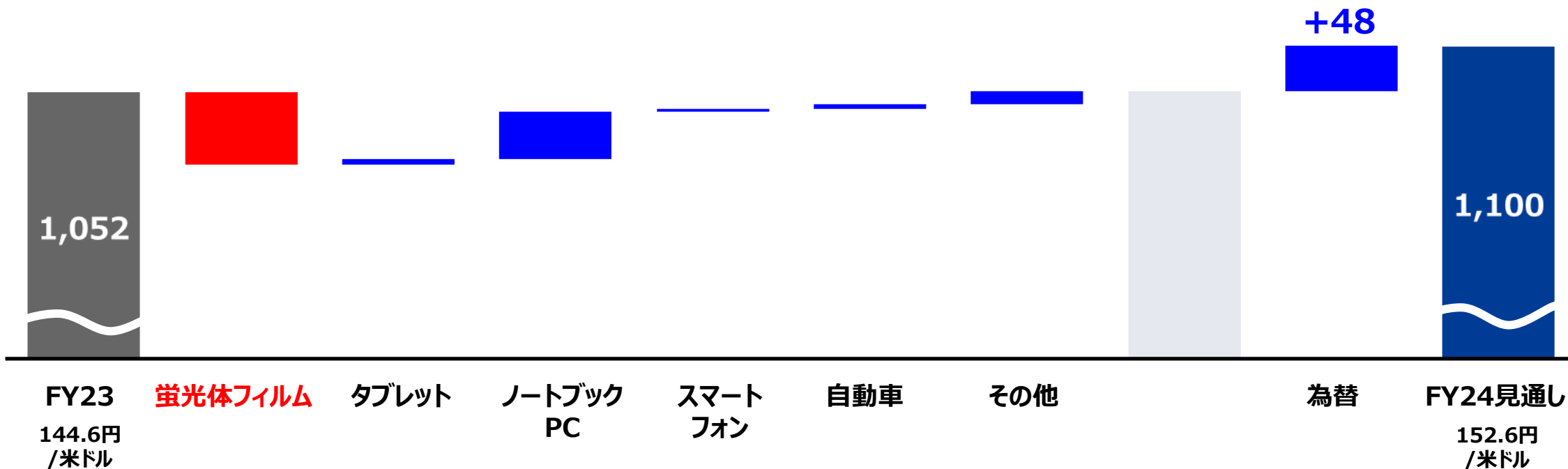
(単位：百万円)	FY23	FY23	FY24見通し		前期比増減額	
	144.6円/米ドル 日本基準	144.6円/米ドル IFRS*	140.0円/米ドル IFRS	152.6円/米ドル IFRS	為替変動の影響除く	
売上高	105,198	105,198	107,000	110,000	+4,802	+23
営業利益	33,421	—	—	—	—	—
事業利益 (IFRS)	—	34,086	33,500	37,000	+2,914	-1,240
税引前利益 (IFRS)	—	30,891	32,000	37,700	+6,809	—
経常利益	30,028	—	—	—	—	—
当期純利益	21,382	22,575	23,000	27,000	+4,425	—
1株当たり当期純利益 (参考)のれん償却前	368.71円 408.08円	129.76円 —	132.20円 —	155.19円 —	+25.43円 —	—
1株当たり配当額	100円	—	中間78円・期末26円	中間78円・期末32円	—	—
配当性向	27.1%	—	39.3%	37.4%	—	—
DOE	7.3%	—	9.8%	10.6%	—	—
自己株式取得総額	5,999	—	—	10,000	—	—
総還元性向(のれん償却前)	50.8%	—	—	75.2%	—	—
EBITDA	40,024	39,387	39,500	43,700	+4,313	—
ROIC	22.3%	21.7%	18.8%	21.0%	-0.7%Pt	—
ROE	27.1%	29.5%	25.5%	29.1%	-0.4%Pt	—
(参考)のれん償却前	30.0%	—	—	—	—	—

(注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY23日本基準) 及び親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY23IFRS、FY24見通し) に読み替え
 1株当たり当期純利益：当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。FY23は当該分割前の金額を記載し、FY23IFRSおよびFY24見通しは当該分割後の金額を記載しております
 1株当たり配当額：当社は2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。FY23及びFY24中間配当は当該分割前の金額を記載し、期末配当は当該分割後の金額を記載しております
 総還元性向(のれん償却前) = (配当支払総額 + 自社株買い総額) ÷ (当期純利益 + のれん償却額) × 100
 EBITDA (FY23日本基準) = 営業利益 + 営業費用として計上される減価償却費 + のれん償却費、EBITDA (FY23IFRS、FY24見通し) = 事業利益 + 売上原価並びに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費
 ROIC (FY23日本基準) = (営業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (自己資本 + 有利子負債) × 100、ROIC (FY23IFRS、FY24見通し) = (事業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (自己資本 + 有利子負債) × 100
 ROE (FY23日本基準) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 × 100、ROE (FY23IFRS、FY24見通し) = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 自己資本 × 100
 *FY23のIFRS実績値は日本基準からIFRSへの組み替えにあたり、2024年11月13日開示分からさらに調整をおこなっております

FY24 アプリケーション別売上増減（前期比）



(単位：億円)

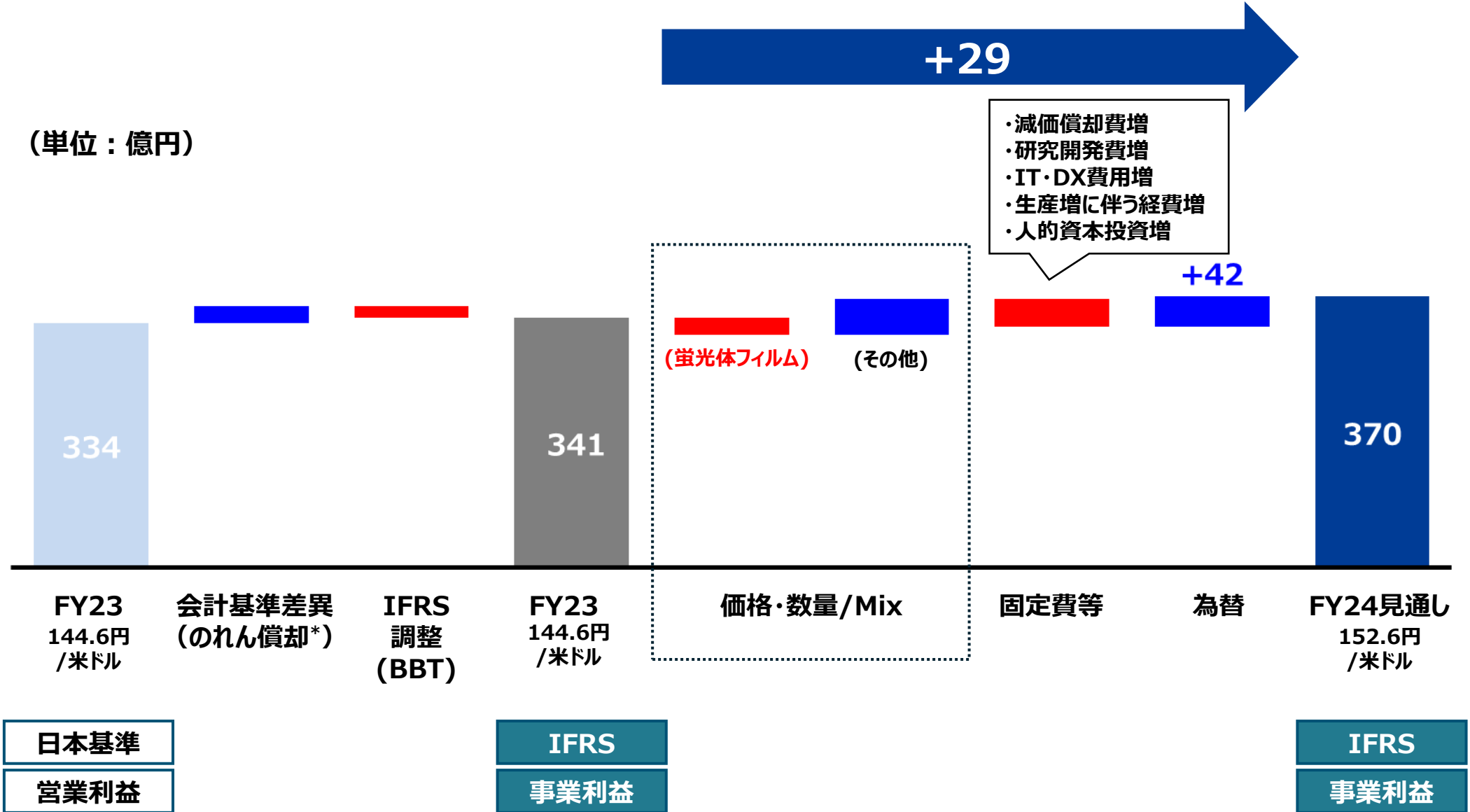


(注) 一部推定を含む

(注) ノートブックPCはデスクトップモニターを含む

FY24 事業利益要因分析 (前期比)

(単位：億円)



日本基準
営業利益

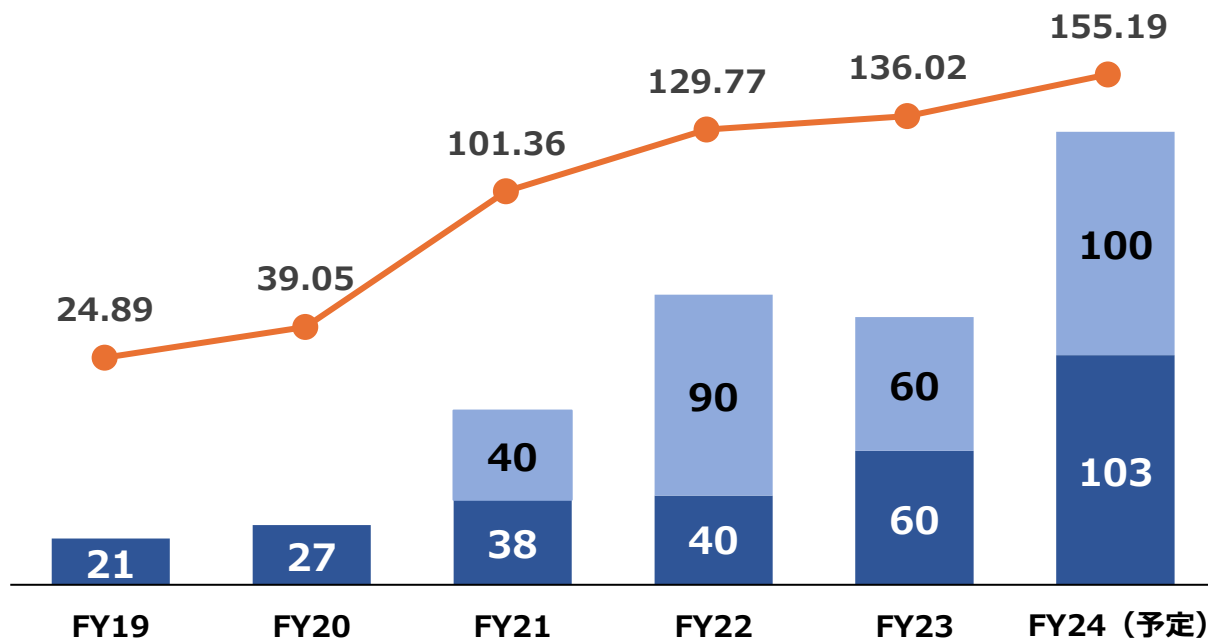
IFRS
事業利益

IFRS
事業利益

*会計基準差異はのれん償却額の足し戻しのみを反映しております

株主還元

■ 配当総額（億円） ■ 自己株式取得総額（億円） ● のれん償却前EPS（円）



のれん償却前EPS*	24.89円	39.05円	101.36円	129.77円	136.02円	155.19円
年間配当金*	11.3円	14.7円	20.0円	21.7円	33.3円	58.0円
配当性向	75.6%	50.3%	21.8%	18.5%	27.1%	37.4%
DOE	4.2%	5.2%	6.2%	5.6%	7.3%	10.6%
総還元性向 (のれん償却前)	45.6%	42.2%	42.3%	56.6%	50.8%	75.2%

(注) のれん償却前EPSの計算における当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY19-FY23) 及び親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY24 予定) を使用
配当性向はFY23まではのれん償却後EPSを使用
のれん償却前EPS及び年間配当金はFY19の期首に株式分割がおこなわれたと仮定して算出

*前期末純資産の7%

◆ 中期経営計画還元方針

総還元性向60%目途（5年間累計）

連結配当性向40%目途

DOE7%*を下限（安定配当を念頭）

◆ 現金配当

期末配当金を26円から32円に増額、年間58円
（分割前：同78円から96円に増額、年間174円）

◆ 自己株式の追加取得&消却

前期末の現預金とネットキャッシュの水準を勘案し
今期のキャッシュ水準をコントロール

取得総額：50億円（上限）

取得期間：2025年2月13日 ~ 3月17日

取得する全株式を3月27日に消却予定

FY24取得総額：約100億円

Appendix



FY24.3Q累計 セグメント別売上高・事業利益

(単位：百万円)	FY23.3Q	FY24.3Q	前年同期比 増減
光学材料部品セグメント			
売上高	39,590	41,696	+5.3%
事業利益	12,894	13,636	+5.8%
事業利益率	32.6%	32.7%	+0.1%Pt
EBITDA	14,677	16,194	+10.3%
電子材料部品セグメント			
売上高	41,619	46,000	+10.5%
事業利益	15,408	18,228	+18.3%
事業利益率	37.0%	39.6%	+2.6%Pt
EBITDA	17,610	20,601	+17.0%
連結合計			
売上高	80,717	87,163	+8.0%
事業利益	28,303	31,865	+12.6%
事業利益率	35.1%	36.6%	+1.5%Pt
EBITDA	32,288	36,795	+14.0%

(注) 売上高にはセグメント間取引を含む

FY24 業績見通し セグメント別内訳

(単位：百万円)	FY23	FY24見通し	
	144.6円/米ドル 日本基準	期初見通し 140.0円/米ドル IFRS	152.6円/米ドル IFRS
光学材料部品セグメント			
売上高	51,453	50,000	50,500
営業利益	16,040	—	—
営業利益率	31.2%	—	—
事業利益 (IFRS)	—	13,500	14,000
事業利益率	—	27.0%	27.7%
EBITDA	17,887	16,700	17,500
電子材料部品セグメント			
売上高	54,387	57,000	60,200
営業利益	19,167	—	—
営業利益率	35.2%	—	—
事業利益 (IFRS)	—	20,000	23,000
事業利益率	—	35.1%	38.2%
EBITDA	22,135	22,800	26,200
連結合計			
売上高	105,198	107,000	110,000
営業利益	33,421	—	—
営業利益率	31.8%	—	—
事業利益 (IFRS)	—	33,500	37,000
事業利益率	—	31.3%	33.6%
EBITDA	40,024	39,500	43,700

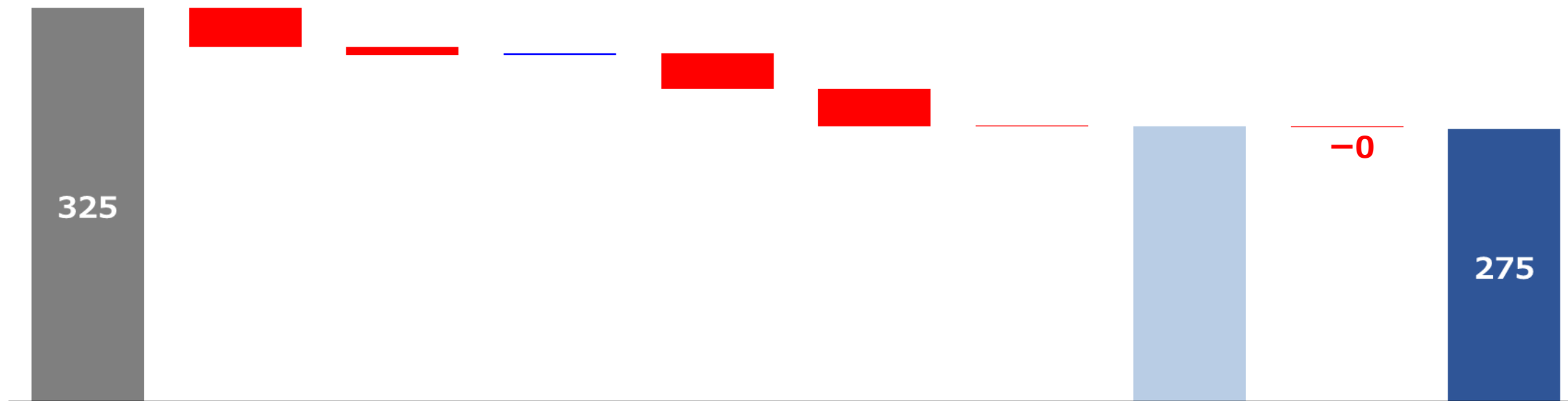
(注) 売上高にはセグメント間取引を含む

(FY23)セグメント利益の合計と連結営業利益の差異はセグメントに帰属しないのれん償却額に相当

FY24.3Q アプリケーション別売上増減（前四半期比）



(単位：億円)



24.2Q
149.4円
/米ドル

蛍光体フィルム

タブレット

ノートブック
PC

スマート
フォン

自動車

その他

為替

24.3Q
152.4円
/米ドル

(注) 一部推定を含む

(注) ノートブックPCはデスクトップモニターを含む

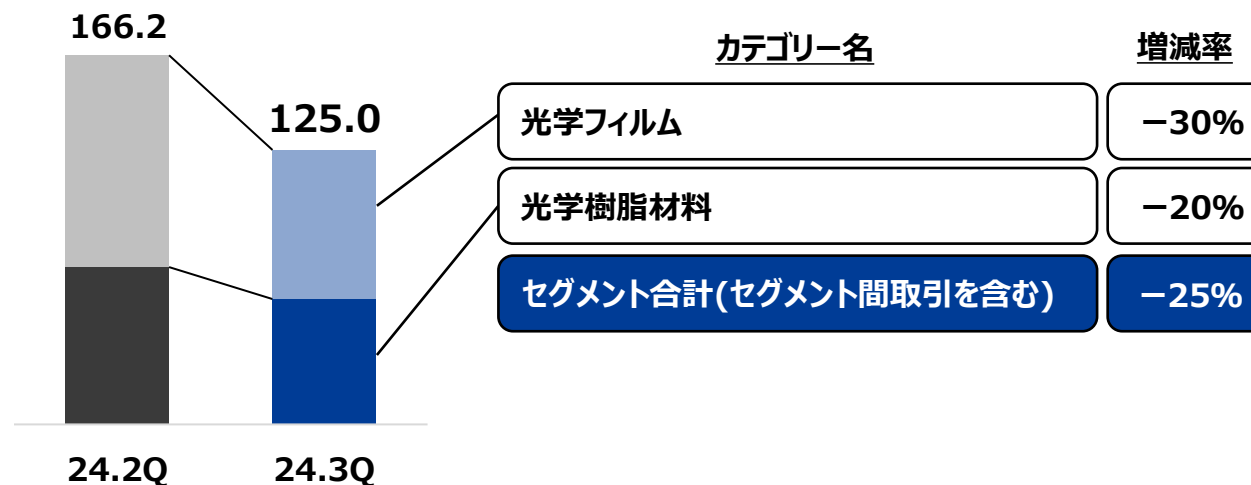
FY24.3Q セグメント別概況（前四半期比）

◆光学材料部品セグメント カテゴリ別売上

(単位：百万円)

	24.2Q	24.3Q	増減率
売上高	16,624	12,499	-24.8%
事業利益	6,342	3,652	-42.4%
EBITDA	7,176	4,527	-36.9%

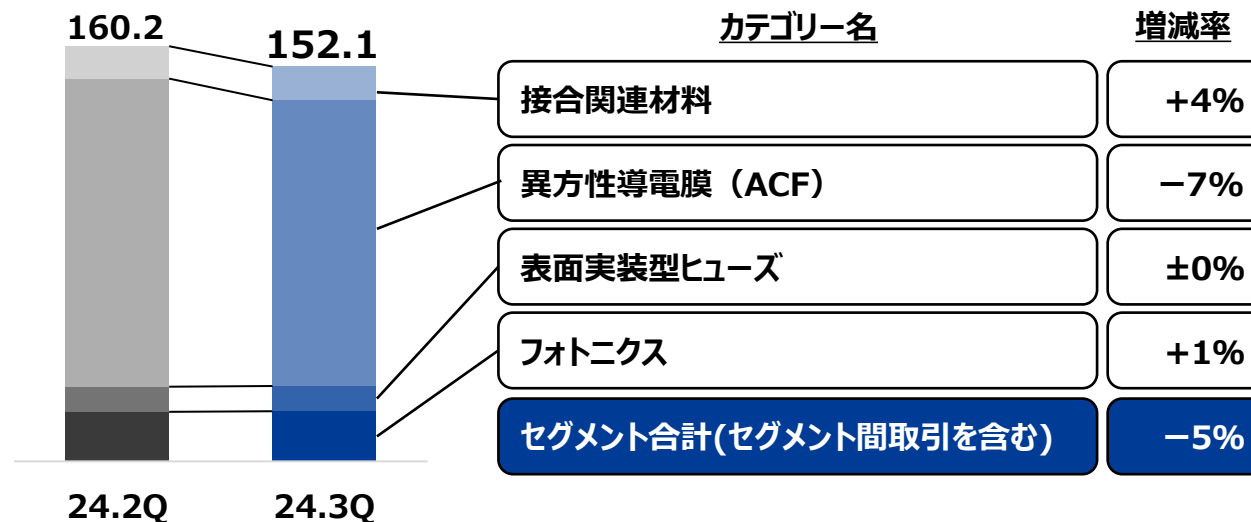
(単位：億円)



◆電子材料部品セグメント カテゴリ別売上

(単位：百万円)

	24.2Q	24.3Q	増減率
売上高	16,019	15,214	-5.0%
事業利益	6,381	5,893	-7.7%
EBITDA	7,183	6,703	-6.7%



2024年12月末 連結財政状況

◆連結バランスシートサマリー

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年12月末	増減額
現金及び現金同等物	35,328	40,118	+4,789
流動資産	69,442	76,922	+7,480
有形固定資産	37,390	47,576	+10,185
非流動資産	70,931	84,117	+13,186
資産合計	140,373	161,040	+20,666
有利子負債	23,198	21,118	-2,080
負債合計	55,251	64,250	+8,998
資本合計	85,122	96,790	+11,667
負債及び資本合計	140,373	161,040	+20,666

ネットキャッシュ残高	12,130	19,000	+6,870
自己資本比率	60.6%	60.1%	-0.5%pt
ネットD/Eレシオ	-0.14	-0.19	-0.05

FY24.3Q累計 連結C/Fサマリー

(単位：百万円)

	FY23.3Q	FY24.3Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	16,587	31,744	+15,156
投資活動による キャッシュ・フロー	-8,373	-7,753	+620
フリー・ キャッシュ・フロー	8,214	23,990	+15,776
現金期末残高	34,337	46,684	+12,347

*キャッシュ・フロー情報は投資家の皆様の利便性のために簡易的に作成した参考情報であり、実際の数値と異なることがあることをご了承ください。

(参考) FY24.3Q累計 地域別売上高

(単位：百万円)

	FY23.3Q		FY24.3Q		増減額
	構成比		構成比		
日本	21.0%	16,974	28.6%	24,901	+7,927
中国	30.5%	24,644	26.3%	22,955	-1,689
韓国	18.7%	15,113	15.0%	13,079	-2,034
台湾	17.8%	14,349	17.1%	14,934	+584
その他	11.9%	9,635	13.0%	11,293	+1,657
海外	79.0%	63,743	71.4%	62,261	-1,481
合計	100.0%	80,717	100.0%	87,163	+6,445

(参考) 四半期データ

(単位：百万円)

	日本基準						IFRS						
	FY22	1Q	2Q	3Q	4Q	FY23	23.1Q (参考)	23.2Q (参考)	23.3Q (参考)	1Q	2Q	3Q	FY24 見通し
売上高	106,167	20,858	28,737	31,121	24,480	105,198	20,858	28,737	31,121	27,176	32,458	27,528	110,000
営業利益**	32,288	4,864	10,180	11,612	6,762	33,421	5,378	10,767	12,157	9,595	12,724	9,545	37,000
営業利益率**	30.4%	23.3%	35.4%	37.3%	27.6%	31.8%	25.8%	37.5%	39.1%	35.3%	39.2%	34.7%	33.6%
当期純利益*	20,685	3,224	6,251	7,367	4,538	21,382	3,684	6,713	8,091	6,689	9,167	7,499	27,000
1株当たり当期純利益*	129.77円	—	—	—	—	136.03円	—	—	—	—	—	—	155.19円
1株当たり配当額	21.7円	—	—	—	—	33.3円	—	—	—	—	—	—	58.0円
自己株式取得総額	8,999	—	—	—	—	5,999	—	—	—	—	—	—	10,000
総還元性向 (のれん償却前)	56.6%	—	—	—	—	50.8%	—	—	—	—	—	—	75.2%
経営指標													
EBITDA	39,101	6,534	11,848	13,244	8,396	40,024	6,709	12,106	13,472	11,204	14,360	11,231	43,700
ROIC	24.4%	—	—	—	—	22.3%	—	—	—	—	—	—	21.0%
ROE	30.3%	—	—	—	—	27.1%	—	—	—	—	—	—	29.1%
(参考) のれん償却前	33.6%	—	—	—	—	30.0%	—	—	—	—	—	—	—
設備投資額	13,926	1,413	1,294	1,735	3,039	7,482	1,413	1,294	1,735	1,321	2,261	1,024	20,000
減価償却費	4,615	1,147	1,144	1,107	1,111	4,510	1,379	1,386	1,362	1,623	1,650	1,700	6,700
のれん償却費	2,283	570	570	570	570	2,283	—	—	—	—	—	—	—
研究開発費	4,274	1,122	1,122	1,227	1,233	4,706	1,122	1,122	1,227	1,208	1,317	1,250	5,000
為替レート (円/米ドル)	135.5	137.4	144.6	147.9	148.6	144.6	137.4	144.6	147.9	155.9	149.4	152.4	152.6

*当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY22, FY23) 及び親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY23IFRS、FY24) に読み替え

**FY23 IFRS、FY24は営業利益に替えて、事業利益・事業利益率を記載しております

(注) 1株当たり当期利益と配当額は株式分割後を記載しております

23.1~3Q(IFRS)の減価償却費は投資家の皆様の利便性のために簡易的に作成した参考情報です

IFRSの設備投資額はリース契約にかかる固定資産を除いております

(参考) 四半期データ (セグメント別)

(単位：百万円)

	日本基準						IFRS						
	FY22	1Q	2Q	3Q	4Q	FY23	23.1Q (参考)	23.2Q (参考)	23.3Q (参考)	1Q	2Q	3Q	FY24 見通し
光学材料部品セグメント													
売上高	55,384	9,186	14,504	15,898	11,863	51,453	9,186	14,504	15,898	12,573	16,624	12,499	50,500
営業利益*	17,969	1,989	5,084	5,853	3,113	16,040	1,961	5,091	5,841	3,641	6,342	3,652	14,000
営業利益率*	32.4%	21.7%	35.1%	36.8%	26.2%	31.2%	21.4%	35.1%	36.7%	29.0%	38.2%	29.2%	27.7%
EBITDA	20,142	2,496	5,568	6,287	3,534	17,887	2,604	5,670	6,402	4,490	7,176	4,527	17,500
電子材料部品セグメント													
売上高	51,495	11,810	14,407	15,400	12,768	54,387	11,810	14,407	15,400	14,765	16,019	15,214	60,200
営業利益*	16,106	3,322	5,543	6,205	4,096	19,167	3,416	5,675	6,316	5,953	6,381	5,893	23,000
営業利益率*	31.3%	28.1%	38.5%	40.3%	32.1%	35.2%	28.9%	39.4%	41.0%	40.3%	39.8%	38.7%	38.2%
EBITDA	18,958	4,038	6,280	6,956	4,860	22,135	4,104	6,436	7,070	6,715	7,183	6,703	26,200
連結合計													
売上高	106,167	20,858	28,737	31,121	24,480	105,198	20,858	28,737	31,121	27,176	32,458	27,528	110,000
営業利益*	32,288	4,864	10,180	11,612	6,762	33,421	5,378	10,767	12,157	9,595	12,724	9,545	37,000
営業利益率*	30.4%	23.3%	35.4%	37.3%	27.6%	31.8%	25.8%	37.5%	39.1%	35.3%	39.2%	34.7%	33.6%
EBITDA	39,101	6,534	11,848	13,244	8,396	40,024	6,709	12,106	13,472	11,204	14,360	11,231	43,700

* FY23 IFRS、FY24は営業利益に替えて、事業利益・事業利益率を記載しております

(注) 売上高にはセグメント間取引を含む
セグメント利益の合計と連結営業利益の差異はセグメントに帰属しないのれん償却額に相当(FY22,23)

(参考) FY24 為替感応度

	1H 実績	3Q 実績	4Q 見通し	通期 見通し
売上高 (億円)	3.1	1.4	1.1	5.6
事業利益 (億円)	2.7	1.2	1.0	4.9

(参考) 前提為替レート (円/米ドル)	1H 実績	3Q 実績	4Q 見通し	通期 見通し
	152.6	152.4	152.7	152.6

ESGの取り組み

フィロソフィー	2024年		パーパス「Empower Evolution. つなごう、テクノロジーの進化を。」を制定
ポリシー			「デクセリアルズグループ サステナビリティポリシー」を制定（旧CSR方針を見直し）
重点課題			新たなマテリアリティ（「技術」・「人財」）、13の「ESG重点課題」を抽出・特定
E 環境	2021年	9月	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同 及びTCFDコンソーシアムへの加入
		3月	（株）アールプラスジャパンに資本参加（使用済プラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社）
	2023年	11月	TCFD提言に沿った情報開示（Scope 3の算定結果を新たに公表）
	2024年	11月	CO2排出量削減目標の具体化と見直し ：「2030年度のScope1 + 2を2019年度比46%削減、且つ2030年度のScope2をゼロ」へ
S 社会	2020年	4月	「健康経営宣言」を制定し、2030年のありたい姿に向け、取り組みをスタート
	2021年	4月	リモートワークを制度化し、働き方の多様化を推進
	2024年	4月	ジョブ型人事制度を国内外のグループ会社を含めた全社員に導入
G ガバナンス	2019年	7月	指名・報酬委員会の設置、委任型執行役員制度導入、権限委譲の拡大
	2021年	6月	監査等委員会設置会社移行、役員報酬決定方針改定、全執行役員委任契約移行、権限委譲拡大
		7月	本社を栃木県下野市に移転、東京のオフィスを東京都中央区京橋に移転
	2024年	6月	役員報酬制度の見直し（株式報酬比率の引き上げ、サステナビリティ戦略目標の達成度反映等）
情報発信	2024年	11月	「デクセリアルズ統合レポート 2024」を発行

ESG 外部評価・その他

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index*」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数

「MSCI**日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」
「MSCI**日本株女性活躍指数（WIN）」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**


**2024年6月
構成銘柄に連続選定**

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

「JPXプライム150指数」

**2024年9月
構成銘柄に初選定**



価値創造が推定される我が国を代表する企業で構成される指数

「JPX日経インデックス400」

**2024年8月
構成銘柄に3年連続で選定**




JPX-NIKKEI 400

株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**



2024
Somo Sustainability Index

SOMPOアセットマネジメント株式会社が独自に設定するアクティブ・インデックス

「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」

**2024年4月
4年連続で認定**




2024
健康経営優良法人
Health and productivity

「IRウェブサイト調査」

**2025年1月
主要2社で
高評価獲得**



企業ホームページ
最優秀サイト
2024
日興アイ・アール
総合部門



Internet IR
優良賞
2024
Daiwa Investor Relations

*登録商標 FTSE Russellについて：FTSE Russell（FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標）は、ここにデクセリアルズ株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

**デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません。MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

2024年12月末 自己株式の保有状況

項目	発行済株式数に占める割合	株式数
発行済株式数	100.0%	180,672,600株
普通株式（自己株式除く）	94.2%	170,255,039株
自己株式	5.8%	10,417,561株
インセンティブ目的以外で保有する自己株式数	1.1%	2,028,000株
インセンティブ目的として保有する自己株式数	4.6%	8,388,358株
株式給付信託（J-ESOP）	4.0%	7,201,300株
株式給付信託（BBT）	0.2%	315,300株
譲渡制限付株式	0.5%	871,758株
その他	0.0%	1,203株

(注) 株式分割考慮後の株式数を記載しております
 上記自己株式数に含まれる2024年11月14日から2024年12月20日にかけて取得した自己株式2,028,000株について、2025年1月17日に全株式の消却を行っております

(参考) 日本基準とIFRSの比較



事業利益を設定

本業から創出される利益であり、
日本基準の『営業利益』に相当
(のれんは償却せず)

Our Purpose & Sustainability

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。

デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

Materiality

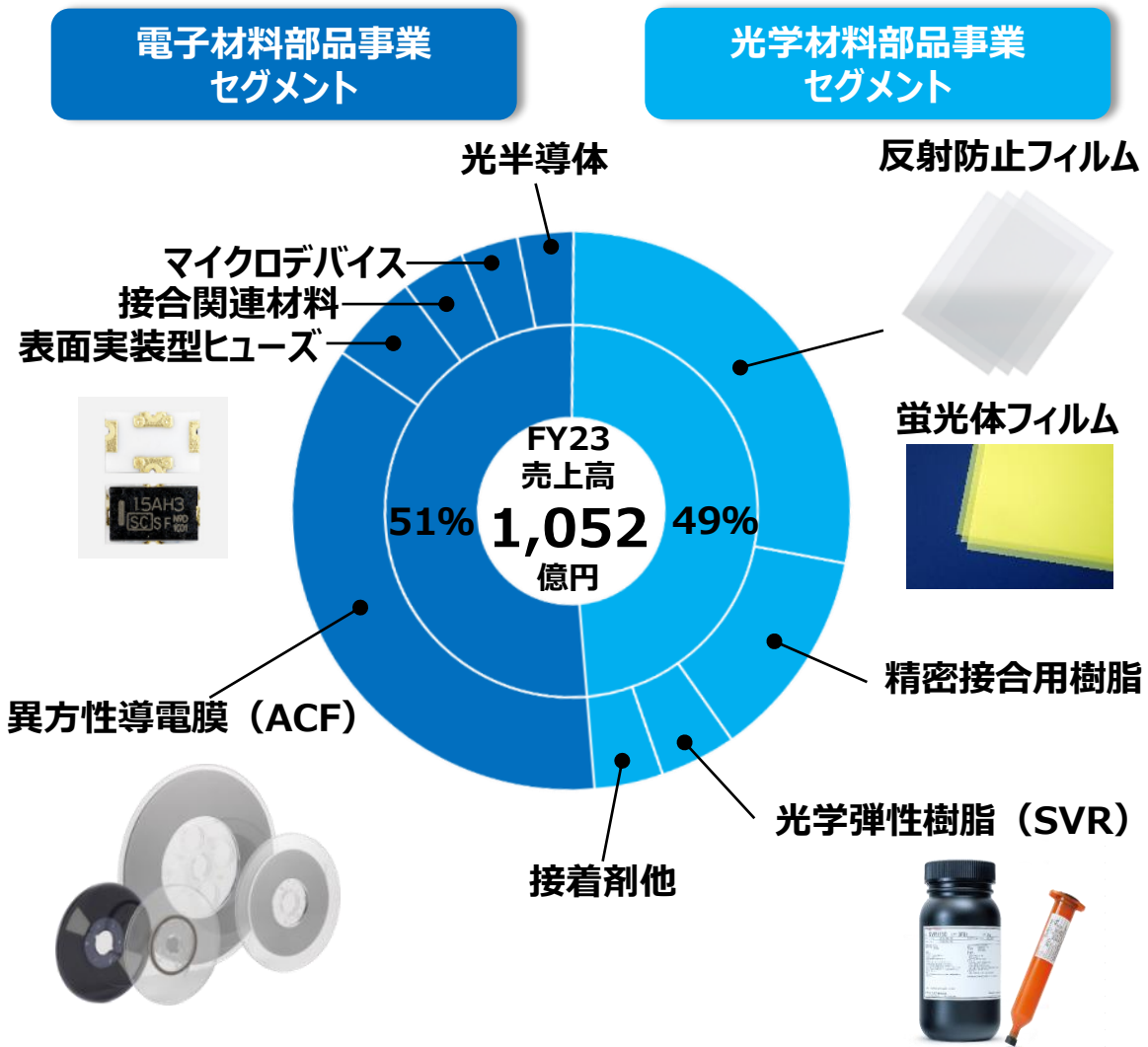
「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

売上高構成

■ カテゴリー別売上高 (FY23)



■ アプリケーション別売上高 (FY23)

電動工具、E-Bike、
プロジェクター、
データセンター、FA 等



当社製品×最終製品

反射防止フィルム



ノートPCディスプレイ等の光学機器の表面で発生する光の反射を抑制することで視認性の悪化を防止するための光学フィルムです

光学弾性樹脂(SVR)

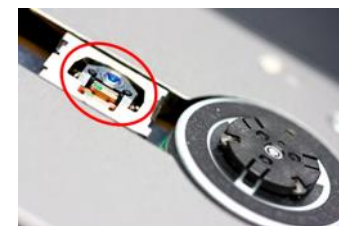


スマートフォン・タブレット・ノートPC等のディスプレイ内部にあるエアギャップを埋め、光の屈折・反射を抑える紫外線硬化型の弾性樹脂です

精密接合用樹脂



カメラモジュール



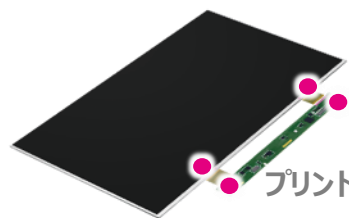
光ピックアップ

紫外線、熱、紫外線+熱で硬化する接合用樹脂です。低温短時間での硬化と低収縮を実現する、スマートフォン等のカメラやセンサーのモジュールの精密接合に最適な接着剤です

異方性導電膜(ACF)



● 異方性導電膜(ACF)



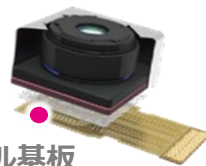
プリント回路基板

大型ディスプレイ
(TV)



フレキシブル基板

中小型ディスプレイ
(スマホ・タブレット・
ノートPC)



カメラ
モジュール

ほぼ全てのフラット パネル ディスプレイで使われるデファクト・スタンダードの接合材料です。熱硬化性の樹脂に導電粒子を分散させた導電性の接着フィルムで、ドライバーICやセンサーモジュールと、基板を導電接続します

表面実装型ヒューズ



リチウムイオンバッテリー搭載の電子機器を安全に使用するための二次保護回路ヒューズです。リチウムイオンバッテリーの「過電流」と「過充電」時にヒューズエレメントを溶断することで電池の安全性を向上させます

当社製品×最終製品

異方性導電膜(ACF)



光学弾性樹脂(SVR)



反射防止フィルム



自動車ディスプレイ



ディスプレイの電子化や画面の大型化・高精細化により、高い反射防止機能と防汚性能を持つ当社の反射防止フィルムの採用が進んでいます。その他にも、光学弾性樹脂（SVR）や異方性導電膜（ACF）等も自動車ディスプレイ向けに伸長しています

精密接合用樹脂



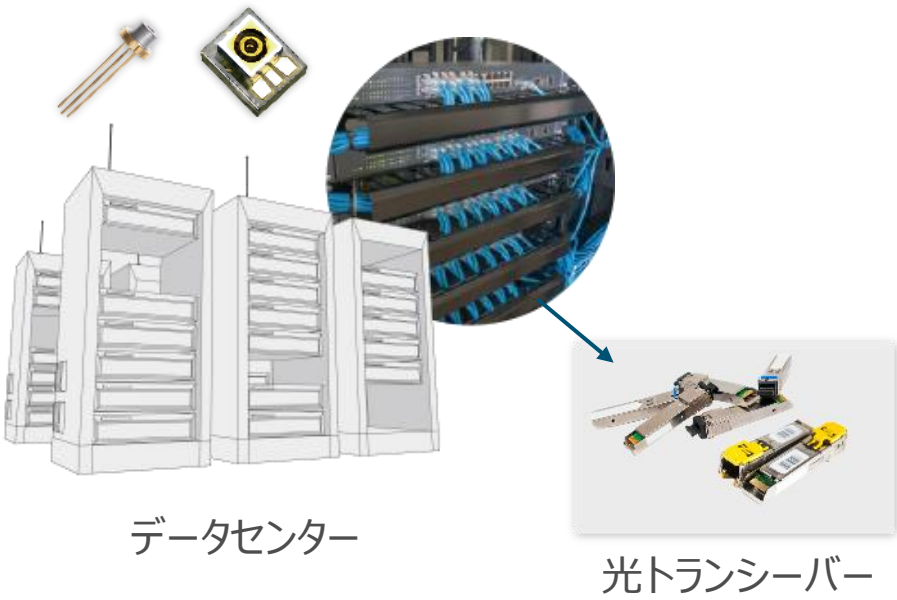
車載センサー



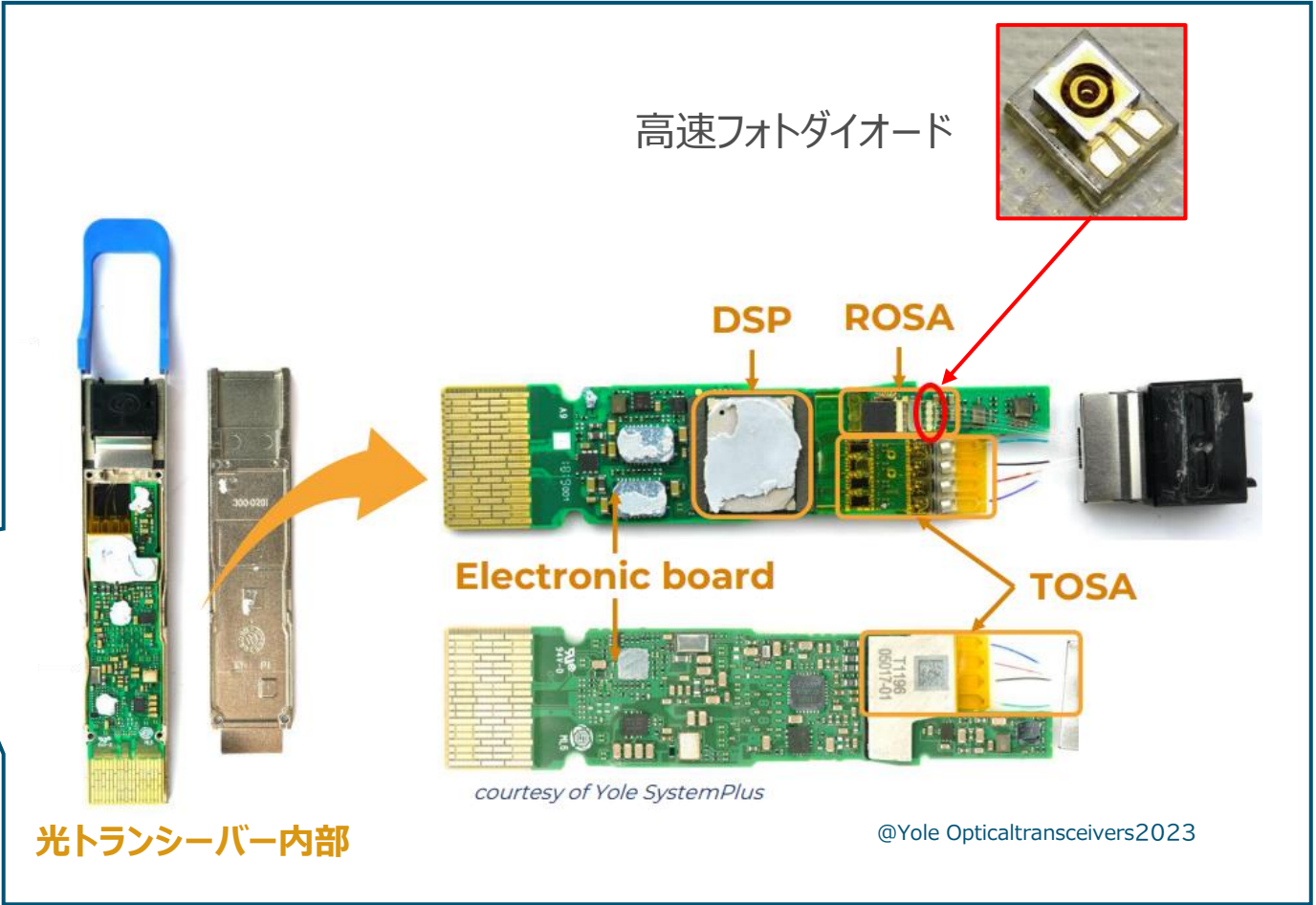
先進運転支援システム（ADAS）の進化に伴い、自動車一台当たりの車載センサーの搭載数が増加しており、センサーモジュール向けに当社の精密接合用樹脂の採用が進んでいます

当社製品×最終製品

光半導体デバイス



電気を光に、光を電気に変換する半導体素子を総称して「光半導体」と呼び、これらが組み込まれた電子部品が光半導体デバイスです。各種データセンター向け光トランシーバー等に当社製品が採用されています



主力製品はニッチな市場で世界シェアNo.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜 (ACF)

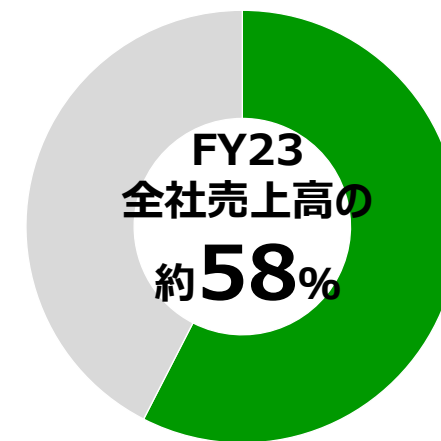


反射防止フィルム



光学弾性樹脂 (SVR)

主力3製品の売上高



海外売上高比率 (FY23)

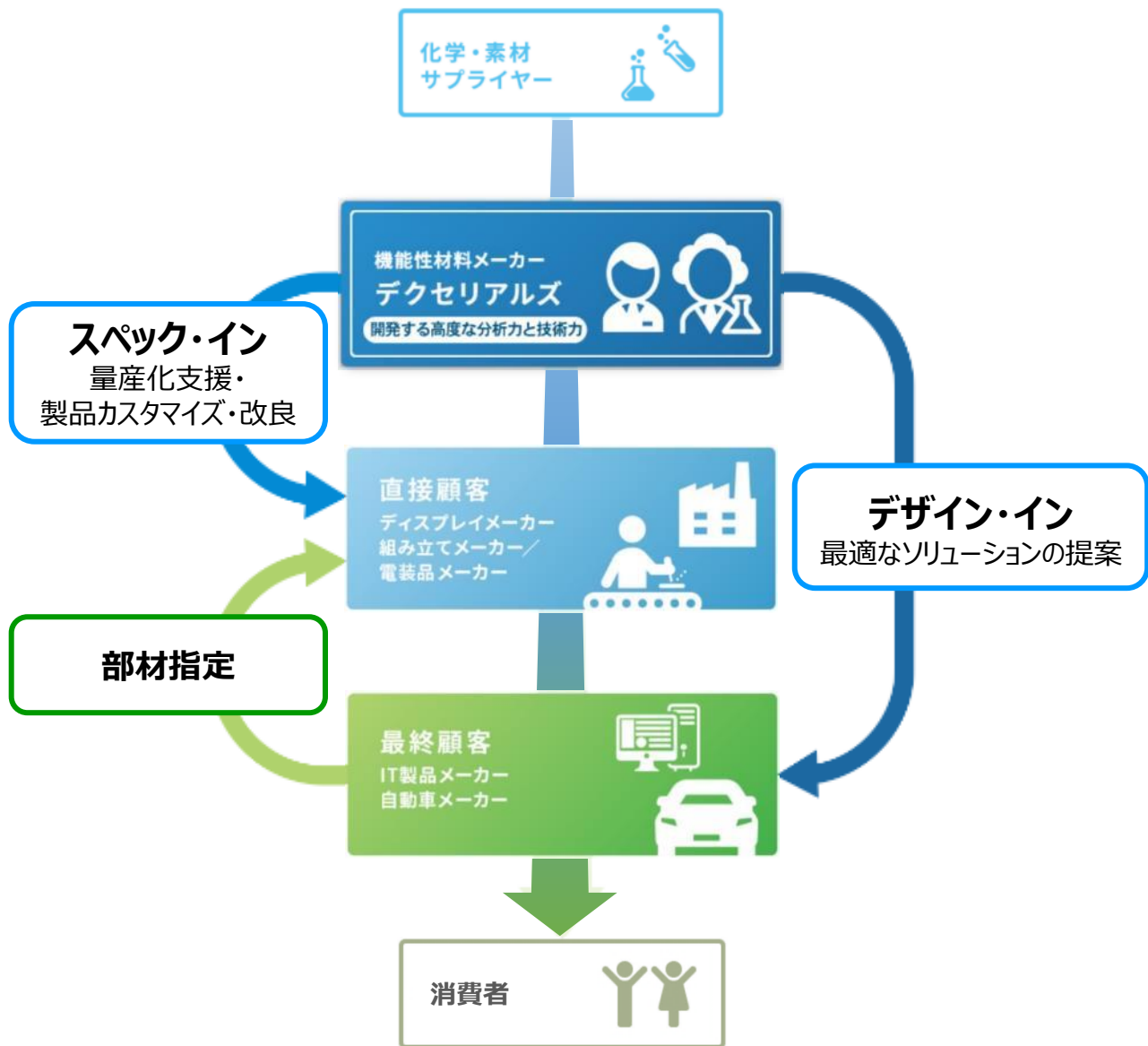
約78%

※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型及び中小型ディスプレイ向けACFの合計の2023年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2023年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2023年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

当社のビジネスモデル – シングルソース製品の創出 –



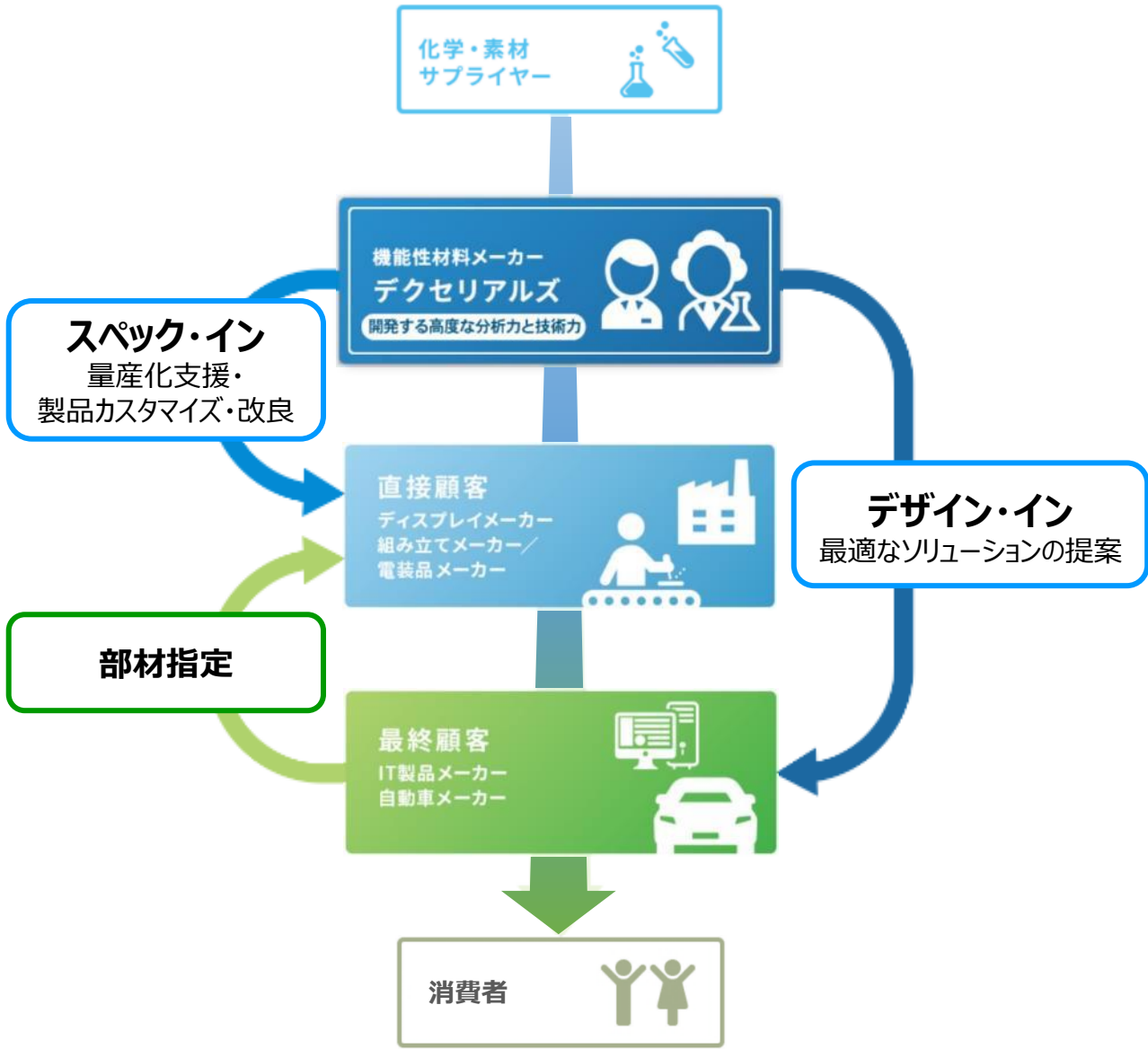
**デザイン・イン: 当社独自のアプローチで
シングルソース製品を創出**

- 最終顧客に直接アプローチし、将来の技術／製品についての課題や要望を引き出す
- 顧客の課題や技術トレンドを先回りした最適なソリューションを開発・提案
- 高度にカスタマイズされた当社のシングルソース製品が最終顧客から直接顧客に部材指定

シングルソース製品の拡大

- 新たな市場を創出
- 高付加価値で価格決定力の強い製品の拡大が、高い収益率を維持し、事業成長に繋がる

当社のビジネスモデル – 新規領域にも展開、持続的成長へ –

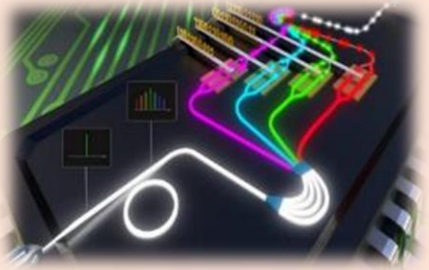


ビジネスモデルが生み出すソリューション

- 社会の効率を実現する技術の進化に不可欠
- 経済価値と社会価値を創出し、サステナブルな成長が可能に

ビジネスモデルを新規領域へ展開し、持続的な成長を達成していく

- 今後社会課題の解決に必要な技術の進化が求められる自動車やフォトニクス領域へ、当社のビジネスモデルを展開



株価とEBITDAの推移

中期経営計画2018
「変革と成長」

中期経営計画2023
「進化への挑戦」

中期経営計画2028
「進化の実現」

当社株価 (円)

2019年
新家由久が
社長就任

前中計期間の
株価リターン

株主
総利回り
(配当込)

+852%

24年12月末時点
株価 2,472円
時価総額 4,465億円

19年3月末 245円
(株式分割考慮後)

EBITDA (億円)

131

85

116

97

108

176

325

391

400

437

640

FY15
実績

FY16
実績

FY17
実績

FY18
実績

FY19
実績

FY20
実績

FY21
実績

FY22
実績

FY23
実績

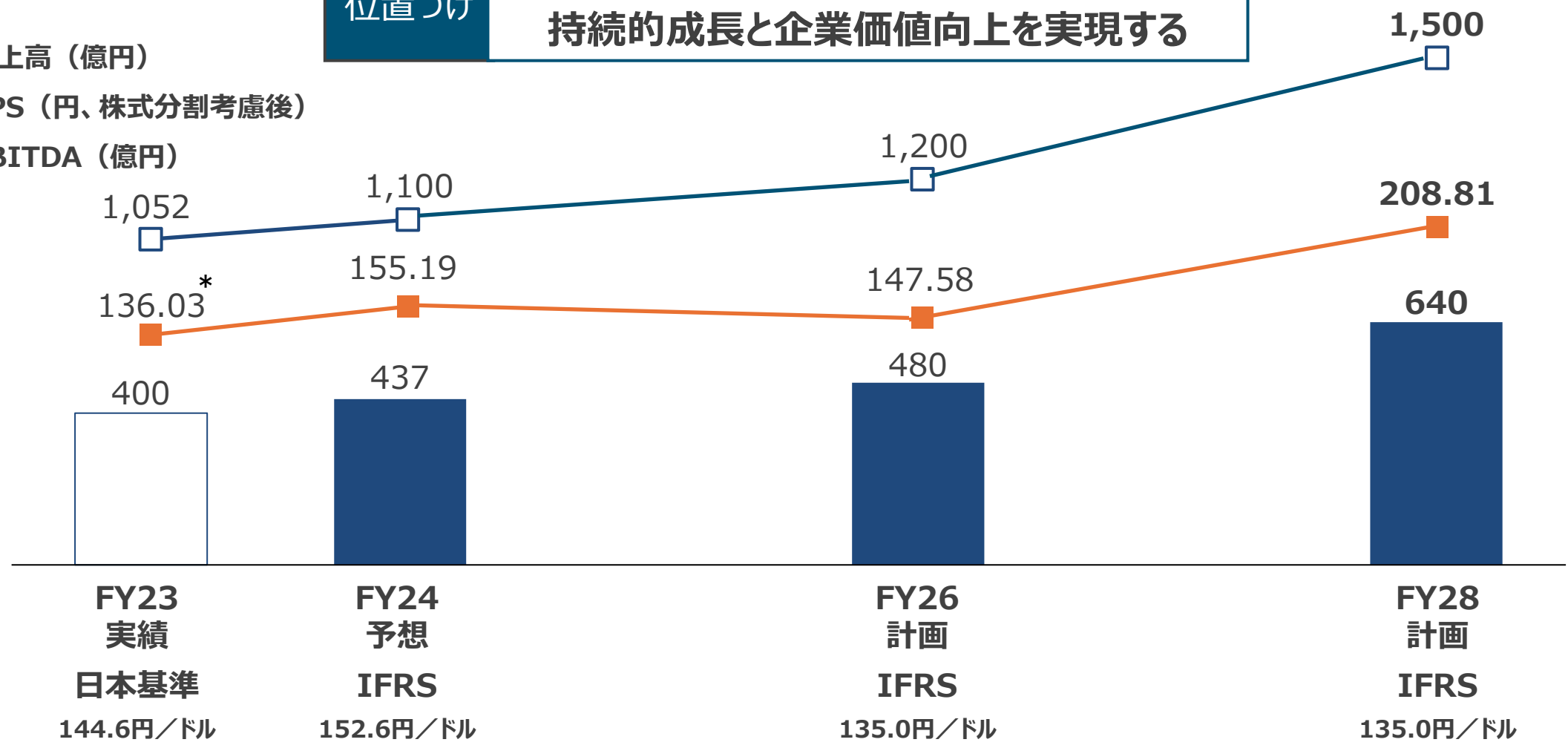
FY24
見通し

FY28
計画

位置づけ

成長投資と株主還元の両立により
持続的成長と企業価値向上を実現する

- 売上高 (億円)
- EPS (円、株式分割考慮後)
- EBITDA (億円)

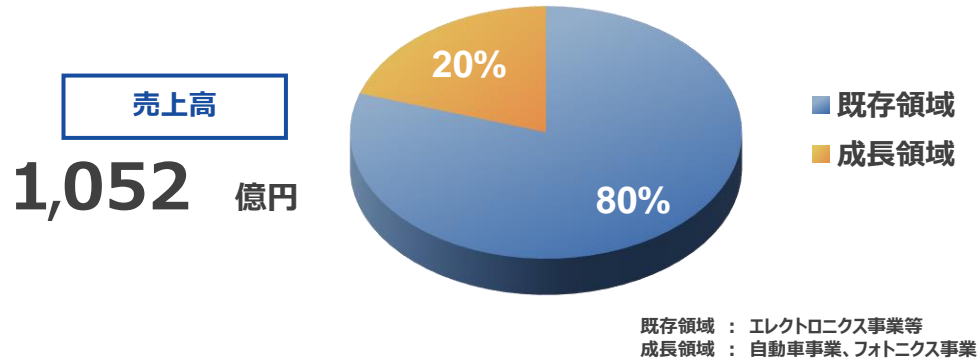


ROE 27.1% 29.1% 中期経営計画「進化の実現」期間中を通じて25%程度

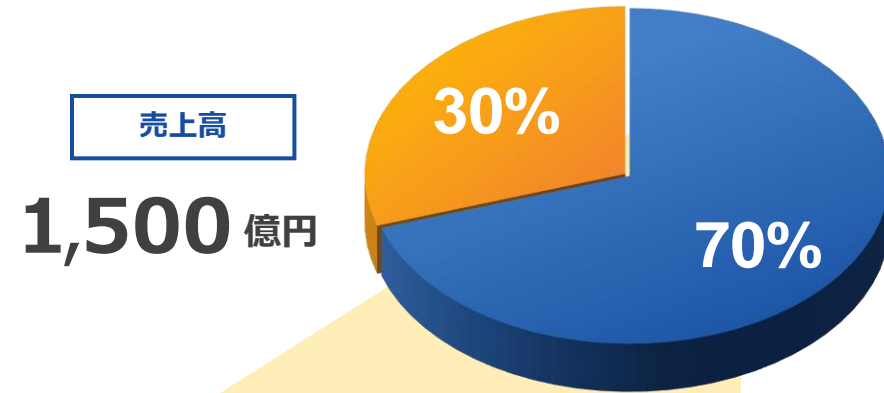
*のれん償却前EPS

中期経営計画2028「進化の実現」における事業成長

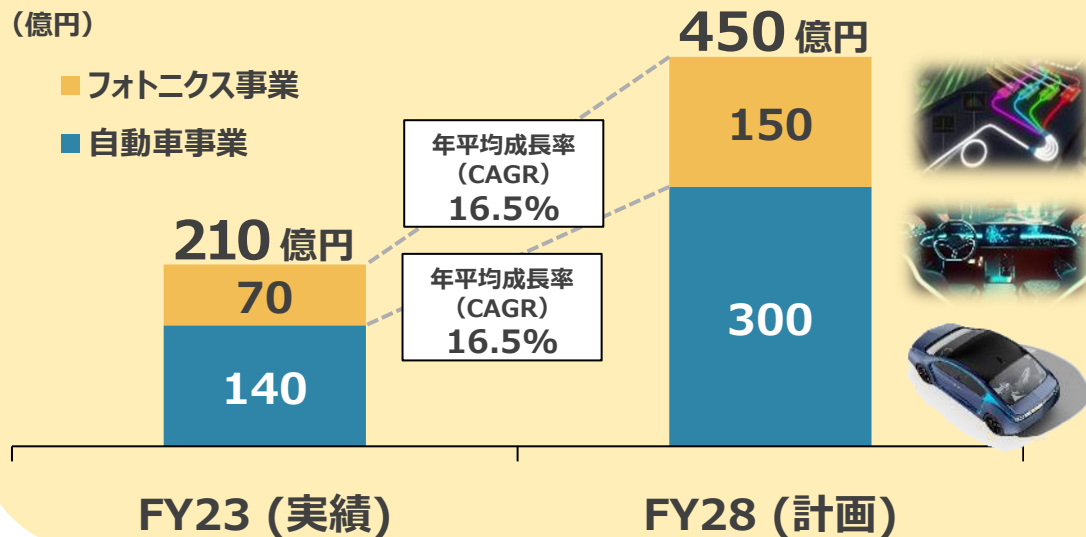
2023年度（実績）



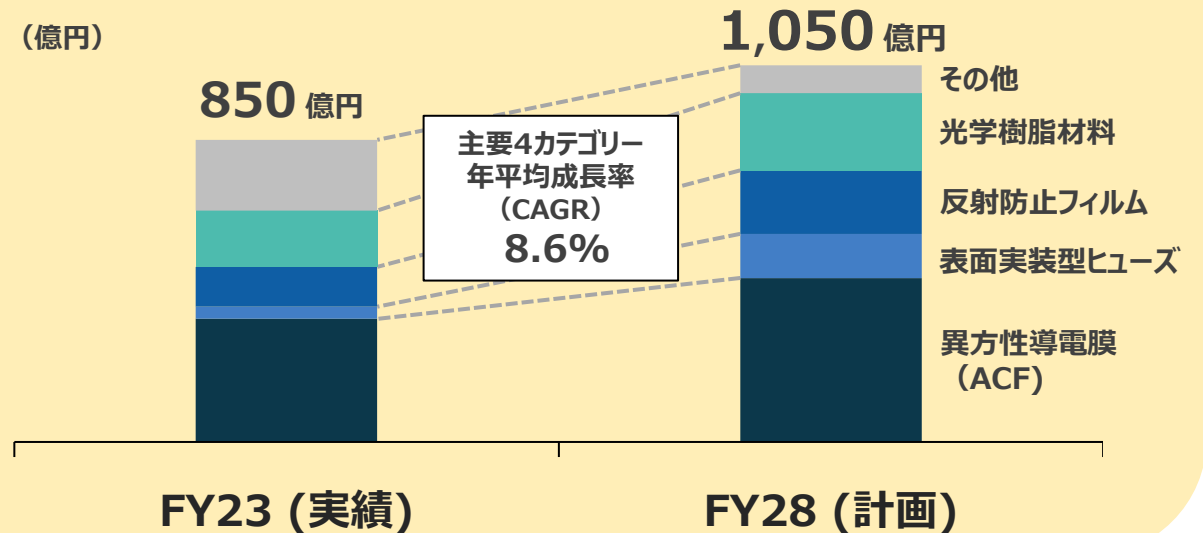
2028年度（計画）



成長領域 事業規模（売上高）



既存領域 事業規模（売上高）



先進的なコーポレート・ガバナンス体制

- ✓ 2019年～
 - ・ 指名・報酬委員会の設置

- ✓ 2021年～
 - ・ 監査等委員会設置会社へ移行
 - ・ 取締役報酬の評価基準にTSRを採用

- ✓ 2024年～
 - ・ 株式報酬制度に譲渡制限付株式を活用
 - ・ 代表取締役の報酬構成の見直し

金銭報酬		株式報酬
固定報酬 30%	変動報酬 70%	
基本報酬 30% 見直し前: 50%	STI 30%	LTI 40% 見直し前: 20%

取締役会



新家 由久
代表取締役社長



佐竹 俊哉
代表取締役



横倉 隆
取締役



田口 聡
取締役



萩原 利仁
取締役

監査等委員会



佐藤 りか
取締役
監査等委員長



谷口 正人
取締役
常勤監査等委員



加賀谷 哲之
取締役
監査等委員

社内
3名

社外
5名

2012年ソニーから独立。2015年上場

1962
ソニーケミカ
創業



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型及び中小型ディスプレイ向けACFの合計の2023年の金額シェア。
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2023年の金額シェア。
※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2023年の金額シェア。
光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

